



区の手続きや施設・イベント案内は
せたがやコール ☎5432-3333

FAX 5432-3100

午前8時～午後9時
年中無休

特集

教育総合センターを開設します

..... 1-3

「教育研究の取組み」NIEの取組み/
SDGsの取組み/「世田谷のICT教育」
ハイブリッド型の学習

..... 4-5

国内留学プログラム/
キャリア・未来デザイン教育/
学校給食/教育推進会議

..... 6-7

教えて！せたがやの星
俳優
高橋 亜衣さん



..... 8

教育総合センターを開設し、 子どもや保護者への支援を充実させます

教育総合センターでは、新たな世田谷の教育を推進し、教育の質の転換を担う教員等の支援、子どもたち一人ひとりに寄り添った適切な支援、乳幼児期からの教育・保育の支援、また、地域や大学、企業等との連携を進めてまいります。「せたがやの教育」では平成30年12月発行の104号より、教育総合センターの開設までのスケジュールや運営方針の記事を連載してきました。開設にあたり、本号では教育総合センターで受けられる支援や、体験できる「遊び」や「学び」のイベントについて、巻頭特集記事としてご紹介します。



連載
⑨

学びが変わる—子どもたちの未来を見据えて—

教育総合センターの開設

総合的な教育相談

いじめや不登校、特別支援教育など、教育に関するさまざまな相談に対応する「総合教育相談ダイヤル」を新設します。子どもでも大人でも相談できます。相談は匿名でも構いません。

総合教育相談ダイヤル

☎ 6453-1520

相談受付時間 月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～午後7時

相談内容が明確な場合は、以下の各窓口へ直接お電話ください。

お子さんの生活や教育に関する相談

来室相談

☎ 6453-1524

受付時間 月・水・金曜日：午前9時～午後5時
火・木曜日：午前9時～午後6時
（祝日・年末年始を除く）

※教育相談室（世田谷分室）の機能を移転します。
※来室相談は予約制です。

お子さんの不登校に関する相談

不登校支援窓口

☎ 6453-1523

受付時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時
（祝日・年末年始を除く）



障害や発達上の特性のあるお子さんの就学に向けた相談

就学相談

☎ 6453-1514

受付時間 月曜日～金曜日：午前8時30分～午後5時
（祝日・年末年始を除く）

配慮を要するお子さんの区立幼稚園就園に向けた相談

就園相談

☎ 6453-1531

受付時間 月曜日～金曜日：午前8時30分～午後5時
（祝日・年末年始を除く）

ほっとスクール「城山」

☎ 6453-1527

電話受付時間
月曜日～金曜日
午前9時～午後5時

不登校児童・生徒の心の居場所であるほっとスクール「城山」（豪徳寺2-10-9）を移転します。定員は令和4年4月より、25名から35名程度に増員となります。

屋上は、ほっとスクールの専用エリアです。屋外遊びができるほか、野菜や植物を育てる花壇もあります。

広いスペースを活かした新たな活動も取り入れながら、学校生活への復帰や自分らしい進路の実現に向け、支援の充実を図ります。



ほっとスクール入口



学習室1

世田谷区の教育を推進する拠点となる「教育総合センター」を、若林小学校の跡地（若林5-38-1）に整備し、令和3年12月20日に開設します。今回は、教育総合センターの開設により、園児・児童・生徒・保護者が受けられる支援について紹介します。

乳幼児教育・保育

乳幼児教育支援センター

「これからの社会を生き抜くための土台となる力」を身につけるために、公立・私立や幼稚園・保育所等の枠組みを超えて、子どもたちへの教育・保育の質の向上を目指します。

幼稚園・保育所等の枠を超えた質の高い教育・保育を実践するための支援を行います。

教育総合センターえがの森（区民利用エリア）・屋外広場の開放

月曜日～土曜日の午前9時～午後5時
※日曜日・祝日・年末年始は休館



アトリエやアート体験

乳幼児期にもっとも伸びると言われている創造性や感性、自己肯定感、粘り強くやり抜く力といった「非認知的能力」を育むことを大きな目的としています。

えがの森（区民利用エリア）では、アトリエ活動やアート体験に参加できます。



外遊び等

子どもは、遊びを通じて、新たな世界に出会い、体験を通して学び、感じ、考えて、成長していきます。

屋外広場は公園のように誰でも自由に出入りできます。お散歩や親子の遊び場としてもご利用ください。



※写真はイメージです。

教育総合センターのことをもっと知りたい方はこちら

世田谷区立教育総合センター 検索



※教育センター（弦巻3-16-8）は教育総合センター（若林5-38-1）に移転しますが、同じ館内にある中央図書館およびプラネタリウムは移転しません。

問 新教育センター整備担当課 ☎ 3429-0811 FAX 3429-2844

* 令和3年12月20日より、担当部署は乳幼児教育・保育支援課（☎ 6453-1500 FAX 6453-1534）へ変更

NIE (Newspaper In Education) の取組み

NIEとは

NIE (Newspaper in Education = 「エヌ・アイ・イー」と読みます) は、学校などで新聞を教材として活用する学習です。



育成される力

- 読書力
- 読解力
- ことばの力
- 情報を取り出す力
- 表現力

世田谷区では

教科「日本語」で NIE

「ことばの大切さに気づき、ことばで深く考え、ことばで表現する力の育成」を目的に作られた教科「日本語」の中で、新聞の記事をもとに友達と考えを交流させ、自分の考えをまとめ、どのようにしたら適切に表現できるかを考えるために新聞を教材として活用しています。

朝学習で NIE

年間を通して短時間で継続的に取り組む朝学習の中で、ことばの力、社会への関心、情報を読み取り表現する力などを高めるために新聞の社説を題材として活用しています。

普段の生活の中で NIE

中学校3年生の各クラスに、朝刊を1部配布し、その新聞をスピーチの題材にしたり、掲示したりして「いつでも・何度でも」活用できるようにしています。

さまざまな声

社説を要約する学習を通して、文章をまとめる力が伸びたと思います。また、社会の出来事にも興味をもつようになりました。 生徒より



子どもたちが、社説を読んで社会で起きている事象を多面的・多角的な視点や批判的な視点から捉えることを目的にしています。 教員より

問 教育指導課 ☎5432-2703 FAX 5432-3041

SDGsの取組み

SDGs研究協力校

世田谷区では、持続可能な社会の実現に向け、身近な生活から地球規模まで自分たちができることを見つけ、実体験・体感を伴う教育活動について、研究協力校を指定しています。

用賀中学校

トラ・ゾウ保護基金 (JTEF西表島支部) や海洋研究開発機構 (JAMSTEC) など、さまざまな専門機関とオンラインでつながり、最新の研究成果や研究にかける思いなどを直接伺いました。



イリオモテヤマネコ(レッドリストに登録)の講演

千歳中学校

地域へ働きかけ、古着を回収して送り、世界中の難民への支援活動を続けています。SDGsの理念である主体的な行動力を育む取組みを進めています。



古着回収ポスト



「環境エネルギー・ラボ 2021 in せたがや」でも、2校の生徒が発表しました。

詳しくは区のホームページ (<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/011/001/002/d00188586.html>) をご覧ください。



問 教育指導課 ☎5432-2703 FAX 5432-3041

全校一斉のハイブリッド型の学習

全国で世田谷区だけの取組み!!

令和3年9月3日から12日まで、教室での対面学習と自宅等でのオンライン学習を同時に行うハイブリッド型の学習を実施しました。感染を防止しつつ、ICTを活用して児童・生徒の学びを継続的に保障するため、教員が試行錯誤を重ねました。

世田谷区のように大規模な自治体(小・中学校全90校)で一律に全ての児童・生徒に対してオンライン学習に取り組んだのは本区だけでした。

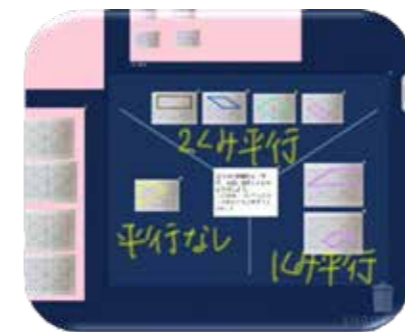
① ビデオ会議アプリで教室でも自宅でも同じように先生の講義を聞く

教室でも自宅でも、児童・生徒が同じく学べるようにするために、教室で行っている学習をタブレットでオンライン配信しました。自宅では、タブレットを見ながら学びました。



② シンキングツールで自分の考えを深める「比較する」「分類する」「関係づける」など

シンキングツールとは、さまざまな情報を整理して自分の考えを明確にするための道具です。考える時のさまざまなパターンが図で示されています。



シンキングツール①
Yチャート



シンキングツール②
マトリックス表



③ 実技教科もオンラインで体を動かしながら学ぶ

学習内容ややり方などを工夫することで、体育などの実技を伴う教科も、教室でも自宅でも同じく学びました。



問 教育指導課 ☎5432-2703 FAX 5432-3041

小・中学生の国内留学プログラム

テンプレ大学ジャパンキャンパス（世田谷区太子堂1-14-29）の協力を得て、同大学の国内留学プログラムに区立小・中学校の児童・生徒が参加しました。

この事業は3日間（小学生は半日ずつ）を通して、さまざまなテーマについて英語を共通言語として学ぶプログラムです。クラスは15名前後の少人数で編成され、講師の他にテンプレ大学の学生がティーチングアシスタントとして児童・生徒の学びをサポートしました。日本にいながら海外の大学の授業スタイルを体験し、気さくな講師や学生の後押しを受け、生きた英語を通して多様なものの見方や考え方があることを学びました。



私はもともと英語が好きだったけど、算数や音楽などの教科を英語で教えてもらって、もっと興味を持ちました。テンプレ大学の学生さんや先生のおかげです。

小学生の参加者の声

大学生が、授業中だけでなく、休み時間にも一緒に英語のゲームをしてくれたのが楽しかったです。英語がわからなかった時でも、やさしく教えてくれたのが嬉しかったです。

普段通っている英語教室では、文字を書く時間が多ければ、今回は英語を聞いてコミュニケーションをいっぱいとしたのが楽しかったです。すべて英語だったので、アメリカに留学したらこんな感じなのかな、とイメージできました。

発言しやすい雰囲気、わからない単語も聞きやすく、ていねいに教えてもらえました。来年も参加して、自分の理想に一步でも近づいていきたいと思いました。

中学生の参加者の声

このプログラムを通して英語に対する意識が変わりました。もっと英語を話せるようになれるよう頑張ろうと思いました。

3日間でたくさんの科目を英語で学べてよかったです。日本語では知っていたことを、英語で学べたのはおもしろかったです。

問 教育指導課 ☎5432-2706 FAX 5432-3041

世田谷区の「キャリア・未来デザイン教育」の第一歩（世田谷区立尾山台中学校）

尾山台中学校では、中学校2年生を対象に、「14歳のパワーアッププログラム～キャリアデザインの第一歩～」というテーマのもと、「働く」とは、自分にとって、どのような意味なのかについての学習を深めています。生徒たちが、これからの社会をどう生きていけばよいのか主体的に考える力をはぐくむことができました。

「おやまちプロジェクト」の方々と一緒に街の本屋さんのイベントを企画しました。

14歳のファーストプロジェクト



ライフサイクルゲーム

人生のさまざまなリスクと必要な備えについて、ライフプランナーと一緒にボードゲームをしながら学びました。

問 教育研究・研修課 ☎5432-2711 FAX 5432-3041

せたがやの学校給食

学校給食は、児童・生徒の心身の成長を支えるとともに、一人ひとりが将来にわたって、健康に過ごすことができるよう、教育活動の一環として実施しています。旬の食材を使い、ルウやドレッシングなども全て手作りしています。コロナ禍においても、「せたがやそだち給食」や「リクエスト給食」、季節ごとの行事食を取り入れるなど各校で工夫し、食べることの楽しさ、大切さを感じ、思い出に残る給食となるようお願いを込めて作っています。

せたがやそだち給食 （世田谷産農産物を使った給食）

世田谷の伝統野菜「大蔵大根」について学ぶ授業や実物展示

実際に見て触る体験をします。



「冬野菜のポトフ」に大蔵大根を使った給食

食べて味わう体験をします。

リクエスト給食



児童・生徒からメニューの希望をとり、給食に取り入れています。
（写真は人気のジャンボ餃子）

問 学校健康推進課 ☎5432-2701 FAX 5432-3029

10月23日教育推進会議・総合教育会議

当日のオンライン会議の様子を、区の公式YouTubeにて配信しています。以下、区のホームページ内より閲覧できます。

●教育推進会議

「より質の高い乳幼児教育・保育の実践に向けて」

テーマのもと、白梅学園大学名誉教授の無藤隆氏にご講演いただきました。そのうえで、高知学園短期大学副学長の山下文一氏にコーディネーターをお務めいただき、世田谷区の教育・保育の質の一層の向上に向けて、保育者が教育・保育で大切にしていることや、保護者から見た幼稚園・保育所等と家庭教育の連携についてパネルディスカッションを行いました。

令和3年度第3回世田谷教育推進会議（動画）



白梅学園大学
無藤名誉教授



高知学園短期大学
山下副学長



●総合教育会議

「子どもたちの自己肯定感を育てる」

筑波大学教授の藤田晃之氏にご講演いただいたうえで、子どもたちの自己肯定感を育てるためには何が必要か、課題を共有し、今後の教育政策の方向性について区長、教育長、教育委員による意見交換を行いました。



会議の様子

令和3年度第2回世田谷区総合教育会議（動画）



筑波大学
藤田教授



問 教育総務課 ☎5432-2745 FAX 5432-3028

編集後記

教育総合センターでは、子どもに関わる専門人材での支援チームを組織して、これまで以上に充実した相談体制を構築します。また、アトリエやアート体験、外遊びなど、さまざまな体験の場もご提供できるよう準備を進めております。ぜひご利用ください。

多言語対応の電子書籍（デジタルブック）で配信をしています。

電子書籍（デジタルブック）「カタログポケット」内で、日本語から9カ国語への自動翻訳・音声読み上げ機能により、「せたがやの教育」を多言語で読む・聞くことができます。二次元コードよりアプリをインストールするか、ブラウザ版をご覧ください。



次号114号は令和4年3月に発行予定です。お楽しみに！

ほんとうに意味あるの？みたいなことも
今振り返ると一つも無駄になっていなくて、
全部が繋がっていると思います。

俳優
高橋 亜衣 さん

俳優で気象予報士の資格もお持ちの高橋亜衣さんにインタビュー。
リハーサル前に、四谷のライブハウスでインタビューを行い、撮影をさせていただきました。劇団四季でのご経験や気象予報士として活躍された中で感じられたことをお伺いしました。

Profile

劇団四季出身。代表作は「ウェストサイド物語」「美女と野獣」「アイーダ」「サラリーマンナイトフィーバー」
特技 ジャズダンス・クラシックバレエ・日本舞踊・殺陣・数学
資格 気象予報士、健康管理士一般指導員・健康管理能力検定1級、日本舞踊 西崎流 名取・師範免許状（西崎線亜）・家元 西崎線に師事、中学・高校教諭一種免許状（数学科）
舞台上に映画に月1の事務所LIVEに出演中。アキヤマ・オフィス所属



幼少期から始めた数多くの習い事

パナマで過ごされた幼少期のことをお聞かせください

パナマは当時、米軍に侵攻されていたので、治安が悪く、ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」のような情景でした。母は私があまり出歩けないことを気にして、たくさん習い事をさせてくれました。帰国してからは日本舞踊と、児童劇団に入りました。日本のお友達と新しい人間関係でやっていかなくてはいけなかったので、習い事を通して母が交流する力や発言する力を積極的に伸ばしてほしいということで始めました。

小学生のときはどのように過ごされていましたが

私は小学校を4回くらい転校しているんです。児童劇団に入っていると、どうしても「今日は仕事があるので、学校を早退します」という日もあったんですね。それをよく思わないお友達もいたんですが、今思うと4回も転校しているおかげで、環境順応力みたいなのは身についたのかなと思います。

中学・高校生のときはどのように過ごされていましたが

中学受験で鷗友学園に入ったんですけれど、本当に勉強させられました。鷗友に入ったときは、「勉強は才能だ」と思っていて、勉強しないでテストを受けていたので、ひどい点だったんですけれども、そこで学ぶことの楽しさや、「やれば全部成果に現れるんだ！」ということを覚えてもらいました。

運命的な出会いから、劇団四季への入団

大学3年生で劇団四季に入団されたときのエピソードをお聞かせください

ジャズダンスのスタジオに通っていたときに、同じ年頃の子がたまたま帰りに話しかけてきてくれて、「四季のオーディション、二週間後に書類の締め切りだから、出そうと思ってるんだ！」と、オーディションのことを教えてくれたんです。その子に引張られるようにして受けたら、たまたま受かったという感じでした。そのお友達と二人で一緒に受かったんです。

劇団四季に入団時代に最も印象に残っているのはどの公演ですか

やっぱり初舞台「ウエスト・サイド・ストーリー」ですね。オーディションで審査員の目にとまって、幼少期にパナマで育ったので、ラテン的なハートが踊りにも出たのだと思います。お友達は、試験がダメで初舞台を踏めなかったんですね。その子の方まで頑張りましたが、私もやっぱり中々デビューできなかったです。半年くらいの間、日の出くらいに家を出て夜11時くらいまでレッスンがあって、本当にハードでした。初日、デビューする日も朝呼び出されて、「歌聞きの試験があります！」と言われ、もし落ちたら、あっ！初舞台を踏めずにさよならなんだ…と思いつつやった記憶がありましたので、「初舞台に立てて、本当によかったな」と、一番の記憶に残る思い出の作品です。

気象予報士資格の取得

劇団四季を退団してから気象予報士の資格を取ろうと思ったきっかけを教えてください

四季にいたときに、机に向かって学問を勉強するということがなかったので、久しぶりにすごく勉強したくなってしまったんです。

大学時代の友人が「就活の時に資格があるといいから、一緒に予報士の勉強をしようよ！」って二人で一緒に通信教育の気象予報士の教材を取り寄せたんです。それが家に残っているのが気になっていたんで、勉強しました。

気象予報士として働かれて感じた大変さはどのような点ですか

ずっと気象庁のページをチェックしたり、四六時中天気のことを考えていました。夜中の勤務もあったので、午前2時に起きて出社して、7時の放送なので4時くらいに撮影して、それまでに尺に合うように原稿を書きました。CGとかもデザイナーさんに発注して、リハーサルして、というのを本番の時間までにやらなければならないので、そういう大変さはあったのかなと思います。

これまで数多くの難しい挑戦を乗り越えてきたなかで、共通して大事だと感じたことはありますか

心の部分で「見返したい」という気持ちがあったほうが、いろんなことにチャレンジできて頑張れるかなと思います。

本当に意味あるの？みたいなことも沢山やってきたのですが、今振り返ると一つも無駄になってなくて、これはこの時に役立ったとか、全部が繋がってるんだなと思います。

最後に子どもたちにメッセージを

お互いが高めあえるような、刺激しあえるようないいお友達に沢山出会ってほしいですね。私達のような年代からできたお友達と、小学校や鷗友で出会ったお友達はまた違うもので、久しぶりにそのお友達に会えば、当時、そんなに仲良くなかった人達でも、それだけで気持ちがその当時に戻って繋がったりします。子どもの頃に出会ったお友達や先生は大切にしてほしいなと思います。

